

平成30年第6回松阪市教育委員会定例会会議録

平成30年4月25日（水）教育委員会室

議題

議案第11号 松阪市図書館規則の一部改正について

報告事項

1. 2月議会について
2. 松阪市私立高等学校振興補助金交付要綱の一部改正について
3. 平成29年度3月分児童生徒の問題行動等の報告について
4. 平成30年度松阪市教育支援委員会委員の委嘱について
5. 平成29年度育ちサポート係相談事業等の報告について
6. 平成29年度松阪市子ども支援研究センター相談関係事業実績報告について
7. 平成29年度松阪市子ども支援研究センター研修講座実施報告について
8. 平成30年度松阪市子ども支援研究センター相談案内について
9. 平成30年度松阪市松阪公民館公金収納事務の委託について
10. 平成30年度阪内川スポーツ公園公金収納事務の委託について
11. 松阪市松浦武四郎誕生地整備検討委員会の解散について
12. 長谷川家資料調査委員会の解散について
13. 長谷川家文化財専門委員会の解散について
14. 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会委員の委嘱について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	鷺 尾	節 子
委員	竹 内	一
委員	長 島	彩 子
委員	岡 田	光 生

出席事務局職員

局長	松名瀬	弘 己
次長	伊 藤	卓 哉
教育総務担当参事兼教育総務課長	青 木	俊 夫
公民館マネジメント担当参事兼		
生涯学習課長	藤 武	利 文
国体推進担当参事兼国体推進室長	山 口	真 澄
飯南飯高教育環境連携担当参事兼		
西部教育事務所長	久 世	徹
教育施設担当監	川 口	雅 生
学校教育課長	有 瀧	弘 晃
学校支援課長	萬 濃	正 通
子ども安全・安心担当監	小 泉	恵 希
子ども支援研究センター所長	野 田	幸 範
松阪公民館担当監	永 田	明 美
スポーツ課長	松 林	正 人
スポーツ施設管理担当監兼管理係長	水 本	博
国体推進室担当監	井 田	精 一
中部台管理事務所長	中世古	雅 男
給食管理課長	上 山	孝 一
北部教育事務所長	中 村	雅 一
産業文化部文化課文化財担当監	松 葉	和 也

午後1時30分開会

○教育長

ただ今から平成30年4月第6回教育委員会定例会を開催いたします。

なお、夕刊三重新聞社様から傍聴の申し出がございましたので、私の方で許可をいたしました。ご報告を申し上げます。

○教育長

それでは、事項書に従いまして、進めさせていただきますが、私の方で事務局と協議をさせていただきました。

まず、議案第11号を議題とさせていただいたあと、報告事項につきましては、事項書の1番、2番、9番、10番をまず報告いただきご審議をお願いします。その後、3番、4番、5番、6番、7番、8番の報告についてご審議をいただいた後、11番から14番の報告をいただきご審議をいただきます。

事項書の順番をより効率的に進められるように3つに分けさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは、議案第11号「松阪市図書館規則の一部改正について」の提案理由を事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、質疑、意見は、ありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質疑なしと認めます。よって、これより討論に入ります。

討論はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

討論なしと認めます。よって、採決に入ります。

議案第11号を可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(委員の挙手)

○教育長

挙手全員でございます。よって、議案第11号は原案どおり可決いたしました。

議案が終了いたしましたので、報告事項に入ります。

先程ご説明させていただきましたとおり、まず、報告事項1、2、9、10につきまして、事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、ご質問、ご意見はありませんか。

◆委員

松阪市議会定例会での代表質問ということで何名かの議員から小中学校へのエアコン、トイレについてのことやフルマラソンについての質問が出ている中で空調については、反対意見等は無いのかなと思います。今後、市議会等の理解を得ながら進めていただくとと思いますが、進捗状況やフルマラソンについて簡単にご説明をいただければと思います。

◎事務局

エアコンにつきましては、松阪市議会におきまして、予定価格の総額はいくらになるのか、防災機能や市内業者をどのように対応、扱っていくのかなどの質問が出ました。市内業者につきましては、出来る限り参入ができるような要件を組んでいきたい。防災につきましても、提案として求めていくというような形で考えております。事業費につきましては、精査をしていくと回答をしております。進捗状況につきましては、現在アドバイザーとともに5月末を目途に公募要領一式を整え準備しているところです。5月2日には、第2回のDBO事業審査委員会を開催いたします。そして16日に第3回事業審査委員会を開催し、この2回で公募の書類一式は全て合意を得て公表していきたいと考えております。竣工いたしますのは、来年の8月末予定どおりでございます。

◎事務局

フルマラソンにつきましては、今後のスケジュール的なものをご説明させていただきます。平成30年度は本格的に準備事業費ということで準備を進めていくための予算を付けていただきました。フルマラソンの準備委員会をまず設置いたしまして、準備委員会を開催していく中で、フルマラソンの開催の基本計画を策定することと、一番大きなところですがコース案を完成させていきたいということで進めているところです。特にコース案に関しましては、陸協であるとか許可の関係から警察との協議などいろんな作業があると思っております。また、先進地視察等も行う中で、松阪らしいフルマラソンという形で進めていきたいと考えております。4月に入ってから水戸市の方へ視察に行かせていただきましたが、非常にたくさんの業務があるということで少し不安に感じておりますが、何とか成功させるように努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○教育長

少し補足をさせていただきますと、フルマラソンについては、いろんな形で議会の方からもご支援をいただけるということで応援をいただいたのかなと思います。ただ、開催については、しっかりと松阪らしさを出すとか松阪でフルマラソンを開催して良かったなという部分、現在行っているシティマラソンを発展させていける、スポーツをする人だけではなくて見る人や応援する人、そしてそれを支える人という形のオー

ル松阪で支えていけるシステムを作っていきたいということでございます。ただ、今回視察の報告を受けましたが、やはりかなり細分化をしております。例えばホテルであるとかおもてなしであるとか松阪らしさをどう出すのか、コース設定についてなどがございますので、もう少し人員を増やすなど、出来ない理由を並べるのではなくて、これを解決したら出来るというためにはどうするのかという視点で進めているところでございます。エアコンにつきましては、DBOは初めてですので、いろいろコンサルにもご指導をいただきながら、より公正で且つ短時間で導入が出来るように考えております。

◆委員

フルマラソンについてですが、準備委員会のメンバーはどのような方々をお考えでしょうか。

◎事務局

現在、メンバーをどうするか考えているところですが、体育協会であるとか地区や県の陸協などさまざまのところから50人から100人くらいになるのかなと想定しております。まだ具体的にご説明ができませんのですが以上のとおりでございます。

○教育長

幅としては、国体の部分と観光協会であるとか商工会、NPO団体などオール松阪で支えていけるようなイメージの準備委員会を考えております。

国体については、何団体でしたか。

◎事務局

国体は、団体というよりは人数でして全員で147名でございます。団体もおられますし、この中には参与として市議会議員等も入っていただいております。

○教育長

他にご質問、ご意見はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等が終了いたしましたので、報告事項1、2、9、10は、承認したいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしということでございますので、報告事項1、2、9、10は、承認いたしました。

次に報告事項3から8につきまして事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、ご質問、ご意見は、ありませんか。

◆委員

今、ご報告のありました、「どうぞご相談ください」のチラシですが、各学校のみへの配布なのでしょうか。できれば公の施設ですとか医療機関などにも配布して周知をしていただけるとありがたいのですが。

◎事務局

今のところ学校、園の方へ配布を行っているのですが、ご意見を賜りましたので、検討をしていきたいと思えます。

○教育長

センターの研修について、昨年の実施実績を踏まえ、今年の研修のメインに入れていきたいなというものがあれば説明をお願いします。

◎事務局

今年度、課題研修の中でライオンズクラブから学級づくりということで2日間に渡って講座の方を設けさせていただくことになっております。初任者の方が段々増える中で学級でのクラスづくりの部分で大変参考になると思えますので、校長会の方でも若い教職員の方に是非参加をということで呼びかけをさせていただいています。あと生徒指導の関係で、昨年度台風のため中止となったQ-Uの関係で久保中学校の青木校長に生徒指導ということで講座の方を設けさせていただいています。学習指導要領改訂の教育課程のところ8月25日に益川先生に来ていただいて講座の方を考えています。

○教育長

来年は、学習指導要領改訂の準備期間であるとともに今日的な教育課題を進めていただくため、研修の充実を図っていただくようです。県教育委員会の総合教育センターで夏、冬にこのような講座もありますが、この講座とは被らないようにし、先生方がいろんな選択が出来るようにしてあります。ネットで研修というのでいつでも、どこでも、何度でもということで、先生方に割り振りをしてあるパスワードを使って県にアクセスをして、コンピューター等でそれを見ていただいて研修ができるような仕組みも作ってございます。

◆委員

平成29年度の小中学校の問題行動の発生状況の報告を受けましたが、少し気になるのが小学校の窃盗、万引き等の件数、それと小学校、中学校含めての不登校の数字ですが、特に小学校の窃盗、万引き等が経済的なものか、或いは遊び感覚でやる状況なのか、調査等もあるかと思えますが、経済的な問題とかあればそのあたりも是非サ

ポートをお願いしたいと思ひますし、不登校につきましても学校には来るけど授業に出れないか完全な不登校かというのもあると思ひますが支援体制もしっかりやっていただいて、そういう生徒や児童を無くすようにお願いしたいと思ひます。

◎事務局

特に小学校での万引き事案についてですが、個々に事情等が異なりますので、各校で家庭訪問であったり、電話連絡等、保護者と特に連携をしまして、児童生徒に対する教育を行っております。29年度は前年度比3件の増となっております、どの事案についても学校が保護者との連携を密にしながら児童が十分そのことを反省して社会性を身につけることができるような指導を行っております。また、不登校につきまして、特にその増加については、教育委員会としても現在最も取組まなければならない課題であると捉えております。要因についても、人間関係でありますとか家庭環境、或いは学力の不振等さまざまな理由があり、多様化をしております。問題行動が減少し、不登校の児童生徒が増加してきている中で今年度から各校において不登校対策に力点を置き、取組の方を進めていきたいと考えております。また、教育委員会の指導主事が各校を巡回して、不登校対策の中心的な役割を持つ教員と連携を持って進めていきたいと考えております。

◎事務局

今年、各学校において不登校の対策委員会を設置いたします。中1ギャップで生活の変化に伴って適応が難しい子どもがいることから、小学校と中学校の教員が情報を共有するシートも使っていきたいと考えております。昨年度の西中学校区の小中学校での研究の成果に基づいて進めてまいりたいと考えております。

○教育長

特に不登校については、課長も担当監も言っていたように大きな課題だと受け止めています。暴力行為が減ってくる一方で不登校が増えてくる。その要因をもう一度原点に戻って把握してその対応をとということで昨年度は西中で取組んでいただいて一定の成果が出ましたので今年はそのを広く普及をしていきたいと思ひます。

◆委員

今年開校した「松阪あゆみ特別支援学校」と他の小学校に行ってきましたが、「松阪あゆみ特別支援学校」に通っている子より重症の子が一般の小学校にみえます。今年開校したばかりで保護者の方も見学などに行ってみえないと思ひますので、その子にとってより良い教育が受けられるように一度学校を見に行ってもらいたい。通常学校に行かせたいという保護者の気持ちもすぐわかりますが、その子に合った学校というのがあると思ひますので、もう少し情報提供等のサポートをお願いしたい。無理に特別支援学校に行かせることは出来ないの、学校の良さを紹介するなど積極的な情報提供で特別支援学校に通えるようにしていただければいいのではと思ひます。

○教育長

就学支援会の方でも指導の方をよろしくお願ひしたいと思ひます。ただ現状を少し報告いただけるのであればお願ひします。

◎事務局

私も「松阪あゆみ特別支援学校」を見学し、障がいの種別に合った設備が整っていることや先生方がきめ細かく指導していただける体制があるということを見聞きしてまいりました。委員が今おっしゃったようにまだまだ周知が足りない部分があると思ひます。今後、「松阪あゆみ特別支援学校」、また近くには「そだちの丘」もございしますので、連携を深めてまいりたいと思ひます。そういった中で、例えば「松阪あゆみ特別支援学校」に通っているお子さんが地域の学校の子どもたちと一緒に過ごすなかで「松阪あゆみ特別支援学校」への理解を図っていければと考えています。また、個人ではなく、「玉城わかば特別支援学校」と飯高中学校が行っていた学校間の交流についても「松阪あゆみ特別支援学校」と進めていければと協議を行っているところでございします。

○教育長

保護者の気持ちは、なんとか地域の学校へ、けれども本当にその子のことを考えれば、委員がおっしゃっていただいたように特別支援学校で丁寧にといいのはあります。私ども市の教育委員会、或いは教師をしていた者にとって特別支援学校が松阪にほしいといふのは悲願でありました。2時間半かけてバスに乗って通っていた子が、その3分の1の時間で通える。そういったところを特性として今後も委員がご指摘いただいたように保護者への周知、理解をしっかりと入れながら、特別支援学校と地域の学校がどう交流していくのか、交流の回数をどう増やしたり、どういふ交流がいいのか、それが保護者の地域の学校に対する期待と特別支援学校へ行く部分との融合性が図れるのではないのかなと思ひますので委員がご指摘いただいた部分も含めて、交流といふこと、保護者の思いに触れていくこと、そのあたりを進めていきたいなと思ひます。

○教育長

他にご質問、ご意見はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等が終了いたしましたので、報告事項3から8は、承認したいと思ひますが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしということでございしますので、報告事項3から8は、承認いたしました。次に報告事項11から14につきまして事務局から説明願ひします。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、ご質問、ご意見は、ありませんか。
(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等が終了いたしましたので、報告事項11から14は、承認したいと思います
が、いかがでしょうか。
(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしということでございますので、報告事項11から14は、承認いたしまし
た。
次に、その他の項に入ります。その他の項で何かありませんか。

◆委員

小学校に導入されてくる英語について、私なりの考えとご意見をいただければと思
います。小学校3年、4年、5年、6年という形で今後2020年に小学校3年で週
1コマ、小学校5、6年では週2コマ入ってきます。小学校5、6年では教科外国語
という形で、3年生については外国活動として入ってくるわけですが、そのような状
況の中でひとは先生方が非常に不安を持ってみえると思うんです。実際に小学校の
教員で英語の免許を持ってみえる方というのは、ほんとに少ないという状況がある
と思いますし、それから自信が無いという形でこれから小学校の先生はいろいろな勉強
をしていかなければならないと思います。そんな中でひとは、評価の仕方も非常に
大事だと思います。これは英語だけではなくこれから道徳についても評価をしてい
くということになっていきますので、先生方に出来る限り研修の機会を多く与えてい
ただいて、松阪がグローバルな人材を育成するという他の市町よりも進んだ活動を是非お
願いしたいと思います。先生方にも研修の機会を取ってもらって少しでも自信を付け
てもらおうという形で是非進めていただきたいと思います。

◎事務局

2020年度に学習指導要領の完全実施ということになりますが、本年度から移行
期間で3、4年生では年間15時間以上、5、6年生では35時間プラス15時間の
50時間以上、外国語活動を行います。大学入試選抜においても資格検定試験が活用
されます。グローバル化の進展が進む中で英語教育の改革が小学校、中学校、高等学
校に通じて求められているところでございます。そんな中で、英語で「話す」、「聴く」、
「読む」、「書く」といった4つの技能を活用したコミュニケーション能力の育成とい
うことが求められます。松阪市といたしましては、先生方の不安の解消という点から
も、子どもたちが実際に生きた英語に触れるという点からもALTを1名増としまし
た。今回新たに小学校英語指導助手として、一定の英語力と日本語能力も有する地域

人材を2人採用いたしました。また、モデル校を設置し、教材や時間数、評価などについて研究していただき、その成果を市内の学校に発信をしていきたいと考えております。それから、資格検定につきましては、I B Aという英検の簡易版を中学校2年生と3年生で実施をし、子どもたちの強み、弱みを分析して、それを個々の指導や授業改善に活かしていくことを考えております。教職員の英語の研修、それから子どもたちに非常に好評でございました「イングリッシュキャンプ」を引き続き実施をしていきたいと考えております。

○教育長

特に今回の予算編成においても英語については、市長部局も特別枠的に教育委員会の目玉としてあげていただきましたので、今ご指摘いただいた、先生方の研修、子どもたちの学習内容、或いは評価であったり、どういう方に関わってもらったら良いかというあたりは議論をして進めてまいります。今、委員おっしゃっていただいたように先生方が不安にならないようにそのコンセプトをもとに進めてまいりたいと思います。

◆委員

やはり聴く力、話す力というレベルがこれからは必要になってくると思いますので、小学校、中学校だけではなくて、例えば松阪商業国際教養科等との連携など、私の時も教養科が徳和小学校に教えに行くということもはじめました。また、先程、松阪市内の観光等で中学校を積極的に参加させるというようなこともあると思うんですが、そのような形で、もっと力を付けられるように、高校等と交流を深めるなど考えていただけたらと思います。

◆委員

中学校のクラブ活動についてですが、松阪市の中学校ではどのように考えているのか。中学校間で共通ではないと思います。学校によっては完全に土日のどちらかは休みですとしっかりと発信している学校もありますし、フルにやってみえる学校もまだまだあると聞いています。県や国からもクラブ活動については、結構言われていると思いますので統一をしていくのか、そのあたりはどうなっているでしょうか。

◎事務局

昨年末にも竹内委員からクラブ活動について、ご質問をいただいたと思うのですが、県と国からガイドラインが出まして、4月から全中学校で週2回、平日1日と土日休日等で1日というラインで今年は進めさせていただいています。ただし、大会等がある前というのは学校長の判断と承認をもって実施するというのは可という部分を入れて、11の中学校が集まった校長会の中で話をさせていただきました。ただ、県や国の言うガイドラインは、時間の制限も入っていますが、この点については、今年度、連Pの代表であるとか教職員、或いは校長会、中体連の代表の方々と現状を見ながらきっちりとしたものを来年31年度に向けて作っていくということで今進めさせていただいています。

◆委員

ニュースでお聞きと思いますが、沖縄を発端としまして麻疹が流行し始めています。既に名古屋では、認定患者が出ているようですし、松阪では未成年の麻疹患者は発生していませんが、この後大型連休を迎えて全国的に広がる可能性があります。感染力が非常に強いのでインフルエンザ等よりも注意が必要な病気です。お願いをしたいのは、小学校、中学校の方は、ほとんど麻疹単独ワクチンか麻疹・風疹の混合ワクチンを2回接種していると思います。2回接種してあればほぼ大丈夫だと思いますが、全く接種していないお子さんや1回で終わってしまっているお子さんがあれば、できればかかりつけ医でもう1回追加接種なり、1回だけでも接種をしておいてもらいたいと思います。全員の聞き取り調査をしなくてもいいですが、保護者に向けて啓発をするなどをお願いしたい。

◎事務局

先だって、県の方から麻疹についての注意喚起の文書が届いておりまして昨日、小中学校に流させていただいたのですが、今委員が言われたことも含めて校長会も利用するなど文書等も考えて情報発信をさせていただきたいと思います。

◆委員

あゆみ特別支援学校について、適正な教育のためにお子さんを同意のもとで入っていただくというのは必要なのですが、既に就業という最終のところが出てきているということで個人的な話をして申訳ないのですが、当社の方に職場体験の依頼が学校の方からございました。何ができるのかというところで今学校と打ち合わせをしている最中ですが、入るだけではなくて、最後の就業というところで企業としては何ができるのかなということと行政としてできれば地元ですのでフォローアップができるといいかなと思います。

○教育長

子どもたちが自らの夢を叶えるためにしっかりキャリア教育をすることは大切なことだと思います。おっしゃっていただいたように例えば職業訓練でも特別支援学校で中学部から入っている子と途中から高等学部から入っている子と掃除の時の検定であるとかちょっと違うようですので特別支援学級での指導方法も連携を図りながら、何ができるのか、子どもにどういうことに力を付けていきたいのか、特別支援学校と連携を図りながら子どもたちの就学支援、キャリア教育については県教育委員会ともしっかり話をしながら進めさせていただこうと思います。保護者のニーズもそこだと言われます。どういうことができるのか、この子にどんな力を付けたらいいかです。

◆委員

企業から言いますと、障がい者の雇用というのが、企業規模が下がってきまして、45人くらいの従業員でも2%くらいの雇用というのが2年後くらいに迫っていま

す。ですからマッチアップが出来るなら企業としても助かる部分もあります。

○教育長

どういふことが出来るのか、どういふ支援が必要なのかなど十分キャリア教育の中でしっかり進めていくとともに教育委員会内部でも研究していく必要もあると思ひますのでよろしくお願ひいたします。

○教育長

他にその他の項で、ありませんか。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、5月23日水曜日、午後1時30分から場所につきましては、改装をいたしました、松阪図書館講座室を予定しておりますのでよろしくお願ひいたします。

○教育長

それでは、これで平成30年4月第6回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後2時40分閉会